

令和元年度 すこやかメールマガジン 第 654 号【ラジオ体操】 8 月 1 日配信

家の前の歩道をパタパタと軽やかな足音が過ぎてゆく。

ふと時計に目をやると、あと少しで午前 6 時半になろうという時刻。

「ああ、小学生が夏休みに入ったのだ・・・」と納得しました。

足音は、夏休みの風物詩である「ラジオ体操」へ向かう子どもたちのものでした。

この時期になると、小学生の頃の記憶が、鮮やかに甦ってきます。朝がめっぽう弱かった私は、いつも起きる時刻は、時間ぎりぎり。それでも、ラジオ体操カードにハンコを押してもらいたくて、遅刻しないように懸命に走ったものです。

当時、私が住んでいた地域の夏休み期間は 1 ヶ月余り、ラジオ体操の実施日も長く夏休み中参加すると 30 日以上。100 人以上の小学生が集う地区でもあり、皆勤賞をもらえたのは、例年 2～3 人でした。私が皆勤賞をもらえたのは、6 年間でたった 1 回。それでも、やり遂げた満足感は、自信になりました。

そして何よりも毎日参加できたのは、朝友達と会い「今日は何をして遊ぶ?」「プールに一緒に行こう」とその日の約束を交わす絶好の場だったことです。

さて、私も親になり、子供会のラジオ体操当番を通じて、時代の変化を感じるがありました。

○実施は短く 5～10 日間程度。・・・保護者の負担軽減のため。

○当番がラジオを持ち寄る。・・・スピーカーは音量が大きく、近所迷惑になることも。

○行き帰りは、静かにするよう注意する。・・・子どもの声がうるさいと苦情が出ることも。

○近所に集まれる友達がいない場合は、各家庭で実施して親のハンコをもらう地区もある。

昭和 3 年に始まったラジオ体操は、昨年 90 年周年を迎えました。当時は「いつでも、どこでも、だれでも」を合い言葉に学校や職場、地区で健康増進と子どもたちの早起きの習慣化という運動になり、全国各地へ広まり、根付いていきました。

そして、今も健康を目的としたラジオ体操による地域の多世代交流は、地域のコミュニティづくりとしても再注目され研究されています。この素晴らしい文化を今後も長く受け継ぐことができるのでしょうか。

さて、来週 8 月 8 日（木）は、二戸市シビックセンター多目的広場において、巡回ラジオ体操・みんなの体操会が開催されます。（雨天時は二戸市総合スポーツセンター）



♪新しい 朝が来た 希望の朝だ 喜びに 胸を開け 大空あおげ♪
ラジオ体操の歌に元気もらい、熱い夏を乗り切りたいものです。【Y】

※次回のメルマガは、8月9日（金）に配信します。

○メルマガで取り上げて欲しい内容や感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。（アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^)）

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」（<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>）>「発行物・刊行物」

>すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索